

小平市の基本理念

はぐくみ・支え合い 学びでつながる
小平の人・まち・未来

小平市の教育目標

～自立 小平で基礎を培う～
～共生 小平で共に成長する～
～貢献 市民が小平を育てる～

【教育目標】

知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じて主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人

特色ある教育の推進

- 1 市研究推進校としてGIGAスクール構想の推進
- 2 個に応じた支援の充実
- 3 小・中連携教育の推進
特別の教科道徳教育の推進
- 4 学習教室（フレップ教室）の充実と工夫

学校経営基本方針

「自立し、心豊かに、たくましく生きる上水中生」の育成を目指し、次に焦点を当て、教育活動を展開する。

「和」を基盤とした教育活動を展開する学校

心豊かで責任感のある教職員の人材育成

1 「和」 人間的な心の調和のとれた生徒の育成を目指す

(人権感覚を豊かに、偏見、差別、いじめ、体罰を産まない、見過ごさない、許さない環境の学校)

- ・ 基本的な生活習慣を大切にし、社会のルールやマナー、規範意識を身に付けさせる。
- ・ 学校で決められた規則や約束事を守り、学校生活を楽しくしようと努力させる。

2 「和み」 心穏やかに、楽しく学校に通い、学ぶ、生徒の心身の成長を目指す

(カウンセリングマインドを生かした生活指導で、不登校生徒、配慮の必要な生徒を育成)

- ・ 自他共に大切にできる思いやりの心や相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。
- ・ 一人一人が自己肯定感を高め、これからの社会を築く一員として必要な協働的な態度を身に付けさせる。また、生命の大切さを繰り返し指導する。

3 「和（環）」 PDCAサイクルを生かした授業改善で学力向上、体力向上を目指す

(学習指導法の工夫に常に取り組み生徒の学力向上、体力向上の実感のある学習)

- ・ 自ら進んで学ぶとともに、委員会や係活動等で責任を果たす態度を養う。
- ・ 学習習慣（宿題の実施、復習の習慣化等）を身に付けさせ、家庭学習の充実を目指す。
- ・ GIGA スクール構想を生か ICT を活用した学習指導法の工夫に取り組む。

4 「和（輪）」 保護者、地域との密接な連携による教育活動の充実を目指す

(コミュニケーションを密にした、教職員との協働による生徒の健全育成)

- ・ 教育、福祉、医療との緊密な連携を目指すし、生徒の健全育成を目指す。
- ・ 保護者、地域、関係機関との連携を充実させ、教育活動全体の充実を目指す。
- ・ 教職員の協働を意識し、人と人とのつながりを大切にする人材を育成する。

学校教育目標とその実現に向けての取組

「自ら考え、進んで実行する人」の実現を目指して

- ・ 分かる授業・授業改善
- ・ 「活用」段階を設定した授業づくり
- ・ 根拠を明確にした考え・意見
- ・ 宿題、課題、自主学習の重視
- ・ 『Daily Life』活用
授業準備、学習蓄積（生徒理解）
- ・ 見通しをもたせる工夫
- ・ 生徒の意欲を引き出す委員会活動や実行委員会の指導と工夫

「心豊かで思いやりのある人」の実現を目指して

- ・ 自他のよさを認め合い、居場所のある学級づくり
- ・ 違いを認める関係づくり
- ・ 意見交流のある授業、学級通信
- ・ 毎日全員と話す学級担任
- ・ いじめの芽発見と早期解決
- ・ ボランティア活動、地域行事参加
- ・ コミュニケーション重視
(直接対話で悩みや問題を解決)

「心身ともにたくましい人」の実現を目指して

- ・ 新体力テスト結果の活用
課題改善を図る運動の日常化
- ・ 基本的生活習慣の徹底
(快食、快眠、快便、挨拶)
- ・ SNS 上水ルール等の徹底
- ・ 二者面談等で積極的な生徒理解
- ・ 「失敗」を生かす指導

「特色ある教育の推進」のために

- ・ GIGA スクール構想の活用
- ・ SC や SSW を活用した校内支援の充実
- ・ 特別支援教育をテーマとした小・中連携の推進
- ・ 主体的に「考え」「議論する」
特別の教科道徳の充実
- ・ 学校支援・学生ボランティア、地域人材の活用した放課後学習教室の充実

